

(様式 6 号)

我湖小第 6 0 号

令和 5 年 3 月 6 日

我孫子市教育委員会 あて

我孫子市立湖北小学校 学校運営協議会
会長 太田 悟

令和 4 年度 第 4 回学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第 1 2 条の規定について、次のとおり報告します。

出席者氏名：太田 悟・星野 朋則・古内 新一・海老原 純子・藤井 明美・吉田 千代子・城 健夫
長田 英一・甘利 尚資

記録者氏名：甘利 尚資

(令和 5 年 2 月 2 8 日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1. 開会	副会長	開会の挨拶
2. 6 年生を送る会の感想	委員 1	感動した。個々の個性を出すことができていた。我が子も送る会で発表したことが今の活動につながっている。全校で見られると良かった。
	委員 2	1～5 年生は、6 年生のための一生懸命さが伝わってきた。6 年生はやや落ち着かない様子だった。発言や態度が好ましくない場面があった。
	委員 3	時間に合わせて行動することができていた。6 年生が他の学年の発表を見て自身を振り返る良い機会になっていると思う。先生方の指導が良くできている。6 年生が一人一人の特技を披露する発表方法は緊張感があって良かった。
	委員 4	それぞれの発表で 6 年生が参加する方法をとっていたことが良かった。6 年生の自己表現という形の発表がとてもよい。見せて教える形、在校生には良い影響になると思う。
	委員 5	在校生は、まとまりや工夫があり、送る気持ちを感じることができた。6 年生のまとまりの無さが気になった。個が強いいためか。
	委員 6	6 年生と他の学年との関わりが大切だと感じた。見る、見せるの関係をこれからも続けて欲しい。
4 学校評価の結果について	委員 7	アンケートの回答に保護者と教員とで差がある。全体をとおして家庭学習の重要性を感じる。

	委員	家庭と学校の要望に差がある。学校ではなく、家庭での指導に重きをおくべきと考える。学習指導についても同様。
	委員	担任と子ども関係は良好なことが分かる。先生と教科指導、児童間のコミュニケーションの充実が課題。読書活動の活性化も必要。
	委員	いじめについて、先生の消極的な回答は0%なのに対し、保護者は約15%が心配と答えている。いじめなどのアンケートは、学校でやらせるのではなく、タブレットを使って、周囲を気にせず秋等できるようにした方が良いのではないか。
	委員	今回のインターネットを使った回答方式をとったことで、前回の紙面回答と比べた回答率はどうなっているか。 紙面の時は、提出者の確認や催促を各学級で行っていたため、回答率は高かったが、連絡メールで催促はするものの紙面よりインターネットを使った回答方式の方が回答率は下がった。
	委員	アンケートの結果を受けて、学校でできること、すべきこと、すべきでないこと。家庭でできること、すべきこと、すべきでないこと、を明確にしないと、学校評価がたた単に学校をたたきだけのものになってしまう。
	委員	湖北中区のグランドデザインをもとに学校と保護者と地域の間で、良いか悪いかの判断にとどまらない共通理解を進めていく必要がある。
	委員	学習について、先生方の評価が低い。公共マナーの子どもたちの評価、保護者の評価のちがひ、私の周囲では、挨拶がしっかりできない児童が多いと聞いている。きちんとしていると答える児童や保護者の判断基準が甘いのではないか。
5 湖北中区グランドデザインの承認	教頭	資料にて提示 次年度の新体制にて、再度提示させていただきます。次年度も同内容にて教育活動に取り組んで参ります。
6 質疑応答	委員	小中一貫教育については、布佐や白山での取り組みをよく耳にするが、湖北地区での実現は難しいと感じる。まず、湖北中学区でできることに取り組んで行きたい。

	委員	学力低下が課題ととれるが、どのような取り組みをしていく予定か。
	教頭	どの学年になっても違和感なく、落ちついて過ごせるよう、教室の掲示や授業の挨拶の仕方など、学級・学年で違いのあったものを統一して取り組むグローバルデザイン化を目指します。
	校長	個別の指導を必要としている児童が本校は多いので、教員不足の解消のため、ボランティアの募集を始めている。
	委員	若い学生の方が、児童も心を許しやすい傾向があるので、学生を有効活用してほしい。
	委員	学校評価では、肯定的な意見が多いから良いのではなく、1%でも消極的な意見があることが問題、そこに課題を見いだしてほしい。できていない子に対して、何をすべきか、何が必要かを伝える指導をお願いしたい。
	委員	学校の目標、児童の目標があるように、地域の目標を作っても良いのではないか。
	委員	そのための実働部隊の編成も必要。
	委員	小中一貫教育については、湖北中、湖北小、新木小との距離的な問題で、すぐにや、いつでもというようにはならない。時間はかかるが、できることを進めていくのが良い。
	委員	学校運営協議会と教員で集まり、話す機会があるとよい。そのために回数も増やすのはどうか。
	教頭	検討します。
	委員	そんなにつながらなくても良いのでは。
	委員	学習については、中学校にいつてからでは、取り返せない。小学校の内にできることはしっかりとやってほしい。
	委員	リレー講座や6年生の中学校の体験入学そういった機会が増えていくとよいと思います。
7 校長から	校長	お礼の挨拶
8 閉会	副会長	閉会の挨拶

傍聴人 0人（発言者数0名）